

# 7歳が危ない!

交通事故に最も遭いやすいのは、7歳の子どもです。これは、北海道警察が発表した統計データからわかります。全年齢の中で際立って多かったのが、「7歳児の死傷者」だったのです。

## <交通事故で7歳児が危険な理由>

保育所、幼稚園のときは、保護者が付き添って行動することがほとんどです。ところが小学校に入学すると一転、一人で行動することになります。そのうえ、子どもは、何かに夢中になると周囲に注意を払うことができなくなり、安全を確認することを忘れて、道路に飛び出してしまうがちです。また、子どもの視野は狭く、大人の3分の2しかないため、信号機や左右から来るクルマが子どもにはよく見えていないことがあります。

## <交通事故の危険から身を守るためには>

決して道路に飛び出さないことを必ず身につかせましょう!

まず横断歩道、信号のある交差点が近くにある場合、そこまで行く。

- ・横断前—クルマがしっかり止まっていることを確認する

- ①一度立ち止まる
- ②「右」「左」と首を動かしてよく見る
- ③クルマが止まっていることを確認

子どもには、クルマを運転しているドライバーの顔を見て、道路を渡る意志を伝えるように言いましょう。

- ・横断中—自分の存在をアピールする

- ①手を挙げて渡る

子どもは身体が小さいので、ドライバーから見えにくいことがあります。手を挙げて存在をアピールしましょう。

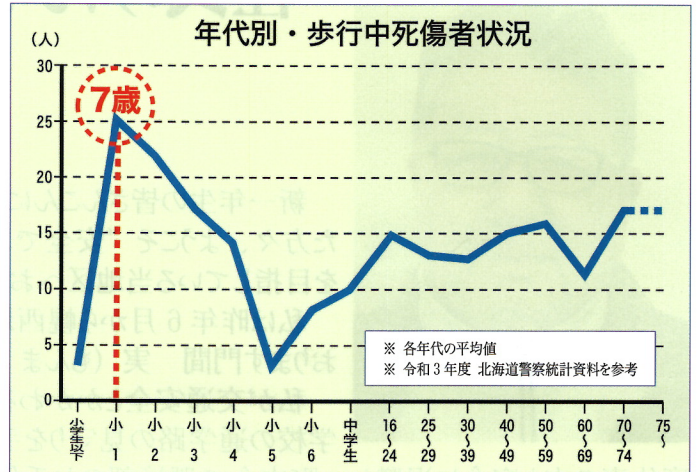
- ②横断中も「右」「左」の確認をしながら歩く

見通しの悪い交差点や曲がり角から、クルマや自転車が飛び出してくることもあるので、注意するように教えていきましょう。

大切な子どもたちを交通事故から守るために、保護者は勿論、周囲の大人は毎日の生活の中でお手本を示していきたいと思えます。

保護者のみなさんが、横断歩道の渡り方を教えているときに、近所の大人が斜め横断をしているところを見せしてしまったとしたら。

子どもが交通ルールを守っていけるためにも、大人も交通ルールを守りましょう。



## 第2回 幌西地区交通安全川柳秀作発表!

前回大募集させていただきました「交通安全川柳」、今回もいっぱい考えていただきました。あれこれと川柳を考える人が増えるほど、交通安全について意識の高い人が増えているということと期待しています。掲載作品の作者にはQUOカード500円分を贈呈させていただきます。

<p>ペンネーム <b>秀</b> みどりのおじさん</p> <p>歩きスマホ 子どもが見てる 絶対しない 自転車スマホ</p>	<p>ペンネーム <b>秀</b> 退屈な男</p> <p>滑るまじ ランパ 受験生 ランマ・</p>	<p>ペンネーム <b>秀</b> ぼっちゃりーぬ</p> <p>ウキウキと 子供に 親ヒヤリ チャリこぐ</p>	<p>ペンネーム <b>秀</b> ジジ</p> <p>注意力 危うい時は 乗りません</p>	<p>ペンネーム <b>秀</b> 猫らて</p> <p>安全は 君・僕 貴女の守り神</p>	<p>ペンネーム <b>秀</b> ユリリン</p> <p>市電浴い よく見よう 右左折ちゅうい</p>
--	---	---	---	---	--